

別添5 現行と想定システムの構成比較表

		現行	想定案
環境局	測定データ収集	1分値、1時間値、精度管理情報(必要時)を収集。	同左
	記録計	測定機器からの測定値をアナログ変換し、記録計にアナログ入力。測定値をSDカードに保存。	記録計(測定機器のデジタル化対応済み)を廃止。保守管理が継続可能な方法に変更。
	測定機器の保守管理	測定局において、監視端末を子局装置に接続し、測定値を確認しながら保守を行う。	測定局や県庁以外の場所からでも、保守用端末から測定値を確認できるようにする。
		測定機器のリセット操作は、測定局においてのみ可能。	測定局以外の場所からでも、監視用端末及び保守用端末から測定機器のリセット操作できるようにする。
ネットワーク	有線(光回線、ADSL回線、ISDN回線)(フレッツグループ)を利用。	有線(光回線)(フレッツグループ)もしくは無線を利用。 ※無線回線は、無線電波の状況に問題が無い場合に利用する。 ※通信の安全性は現在と同等とする。	
発生原局	測定データ収集	アナログ接続、BCD接続、LAN接続方式にて1時間値を収集。	同左
	ネットワーク	有線(フレッツグループ)を利用。	有線(光回線)(フレッツグループ)もしくは無線を利用。 ※無線回線は、無線電波の状況に問題が無く、発生原局企業の利用の了解がある場合に利用する。 ※通信安全性は現在と同等とする。
サーバ	DBサーバ	統合サーバを利用(別添5-2)	同左
	収集サーバ	Windows Server 2016	Windows Server 2019
端末		保守用端末:1台(県庁) 監視用端末:2台(県庁) 行政WANに接続された一人一台端末を利用。	同左
公開機能	閲覧数	三重県HP「三重県大気環境情報」のアクセス数を確認できていない。	三重県HP「三重県大気環境情報」のアクセス数を確認できるようにする。
予測機能	予測業務	(光化学オキシダントの予測業務) 職員がシステムに条件(季節等)の選択、外部情報(津気象台の情報等)の入力し、職員が予測内容の補正を検討し、予測情報の出力を行っている。(別添5-1)	(光化学オキシダントの予測業務) 条件(季節等)の選択、外部情報(津気象台の情報等)の入力、予測内容の補正を自動化し、予測情報の出力を行う。また、その結果を機械学習させ、予測の精度が向上できるものとする。